

整理番号:31900141 発送番号:419586 発送日:平成16年11月16日

1

**拒絶理由通知書**

特許出願の番号	特願 2002-140984
起案日	平成 16 年 11 月 11 日
特許庁審査官	中木 努 3464 5X00
特許出願人代理人	桂木 雄二 様
適用条文	第 29 条第 2 項、第 36 条、第 37 条

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から 60 日以内に意見書を提出して下さい。

**理 由**

(A)

この出願は、下記の点で特許法第 37 条に規定する要件を満たしていない。

**記**

本願の請求項 1 の発明には、複数のサブネットワークがゲートウェイを介して接続された無線ネットワークが記載されている。

請求項 18, 43 に係る発明には、移動加入者を暗号を用いて認証することが記載されている。

したがって、請求項 18～65 に係る発明は、請求項 1 の無線ネットワークの性質・機能を利用する発明でなく、発明の単一性を満たさない。

(なお、「プログラム」又は「プログラムを記録した記録媒体」という発明の語尾は認められているが、「コンピュータソフトウェア製品」という「製品」という語尾では発明が明確でなく認められていない。)

この出願は特許法第 37 条の規定に違反しているので、請求項 1～17, 66～80 以外の請求項に係る発明については新規性、進歩性等の要件についての審査を行っていない。

(B)

この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前日本国内又は外国において頒布された下記の刊行物に記載された発明又は電気通信回線を通じて公衆に利用

整理番号:31900141 発送番号:419586 発送日:平成16年11月16日

2

可能となった発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

この拒絶理由通知書中で指摘した請求項以外の請求項に係る発明については、現時点では、拒絶の理由を発見しない。拒絶の理由が新たに発見された場合には拒絶の理由が通知される。

引用文献等一覧

- ・請求項：1～17, 66～80
- ・引用文献：
- ・備考

引用文献1には、

「無線ネットワークを含む複数のネットワークが混在するシステムにおいて、遠隔ユーザがインターネットサービスプロバイダ（ISP）を介してインターネットにアクセスを行うとき、認証サーバを用いて認証を行い、認められればインターネットにルーティングされることと、

ゲートウェイとして機能する通信シャシは、ISPにより維持されることと、RADIUSプロトコルを利用して課金及び認証を行うこと」が記載されている。

本願の請求項1～17, 66～80の発明は、  
相違点1.

「マルチプロトコルラベルスイッチングを用いてルーティングを行い、パケットヘッダに識別タグを埋め込むこと」

相違点2.

「第1エアアクセスポイントから移動加入者のプロフィールを第2エアアクセスポイントへフェッチすること」

を有するのに対し、引用文献1に記載された発明は、上記構成について記載されていない点で相違する。

相違点1について

引用文献2には、MPLSによりカプセル化（カプセルヘッダを付与）を行いVPNを実現することが記載されており、MPLSを用いた識別タグを挿入してルーティングする技術は周知技術である。引用文献1に、ネットワーク間で通信

整理番号:31900141 発送番号:419586 発送日:平成16年11月16日 3

を行うという同一の技術分野である引用文献2の周知技術を適用することは、当業者が容易に想到し得ることである。

#### 相違点2について

引用文献3には、移動ターミナルが移動するとき、古いAP（アクセスポイント）から新たなAPへ、キー及びその他の情報が転送されることが記載されており、引用文献1に、無線ネットワークという同一の技術分野である引用文献3の公知技術を適用することは、当業者が容易に想到し得ることである。

上記相違点以外の点については、周知技術である（例えば、移動加入者にIPアドレスが動的に割り当てられること等）。

したがって、引用文献1に、引用文献2、3の公知技術及び周知技術を適用し、本願の請求項1～17、66～80の構成とすることは、当業者が容易に想到し得ることである。

#### (C)

この出願は、特許請求の範囲の記載が下記の点で、特許法第36条第6項第2号に規定する要件を満たしていない。

#### 記

- ・請求項：8
- ・備考

請求項8の「少なくとも1つのゲートウェイルータは、複数のゲートウェイルータであること」は、不明確である。

よって、請求項8に係る発明は明確でない。

（なお、請求項77の「フェッチ」は、英語をカタカナ表記した記載であり、日本語として不明りょうであるため、日本語の訳に直されたい。）

拒絶の理由が新たに発見された場合には拒絶の理由が通知される。

#### 引用文献等一覧

1. 特表2000-503198号公報
2. 特開2000-341327号公報

整理番号:31900141 発送番号:419586 発送日:平成16年11月16日 4/E

3. 特表2003-516000号公報

-----

先行技術文献調査結果の記録

- ・調査した分野 IPC第7版 H04L12/28-46
- ・先行技術文献 特開平9-130406号公報

この先行技術文献調査結果の記録は、拒絶理由を構成するものではない。

この拒絶理由通知の内容に関するお問い合わせ、または面接のご希望がございましたら下記までご連絡下さい。

特許審査第四部データネットワーク 脇水

TEL. 03 (3581) 1101 内線3556